

株式会社 FUJI

2022年3月期 第1四半期

決算説明資料

2021年8月

東証・名証一部

証券コード：6134

目次

- ◆ 1. 第1四半期決算の概要
- ◆ 2. 2022年3月期 業績予想
- ◆ 3. トピックス

- ◆ 1. 第1四半期決算の概要
- ◆ 2. 2022年3月期 業績予想
- ◆ 3. トピックス

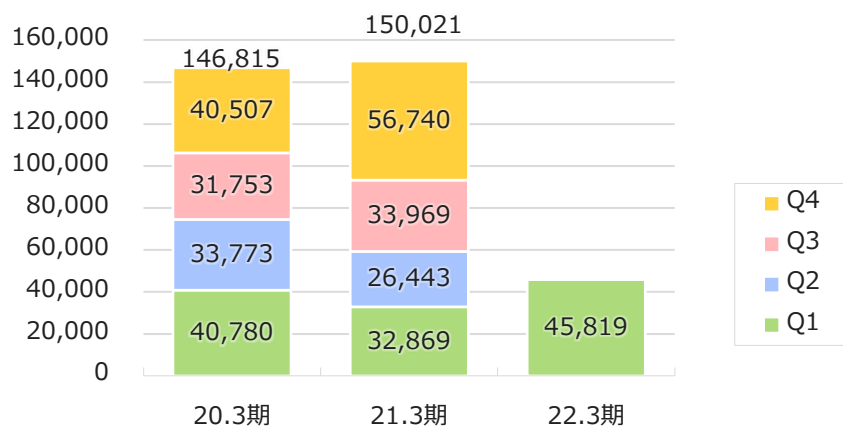
2022年3月期 第1四半期 業績

◎ 電子部品調達難による出荷への影響があったものの、売上は対前年同期比2.5%の増収
 ◎ 利益面においては、売価および生産効率の改善等により増益

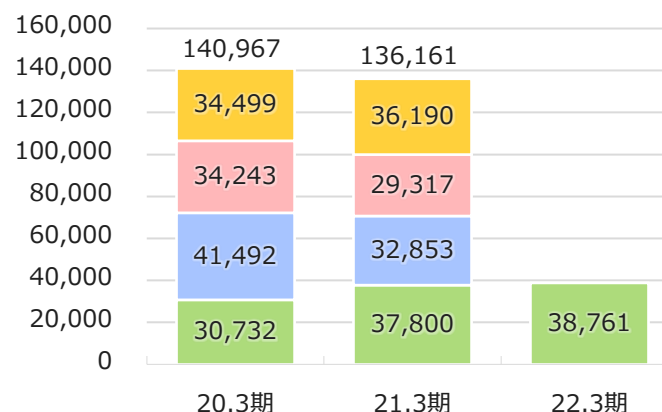
(百万円)

	21.3期 Q1 実績	22.3期 Q1 実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	32,869	45,819	+12,950	+39.4%
売上高	37,800	38,761	+961	+2.5%
営業利益	6,434	8,845	+2,410	+37.5%
経常利益	6,991	9,232	+2,241	+32.1%
当期純利益	4,948	6,467	+1,519	+30.7%

受注高

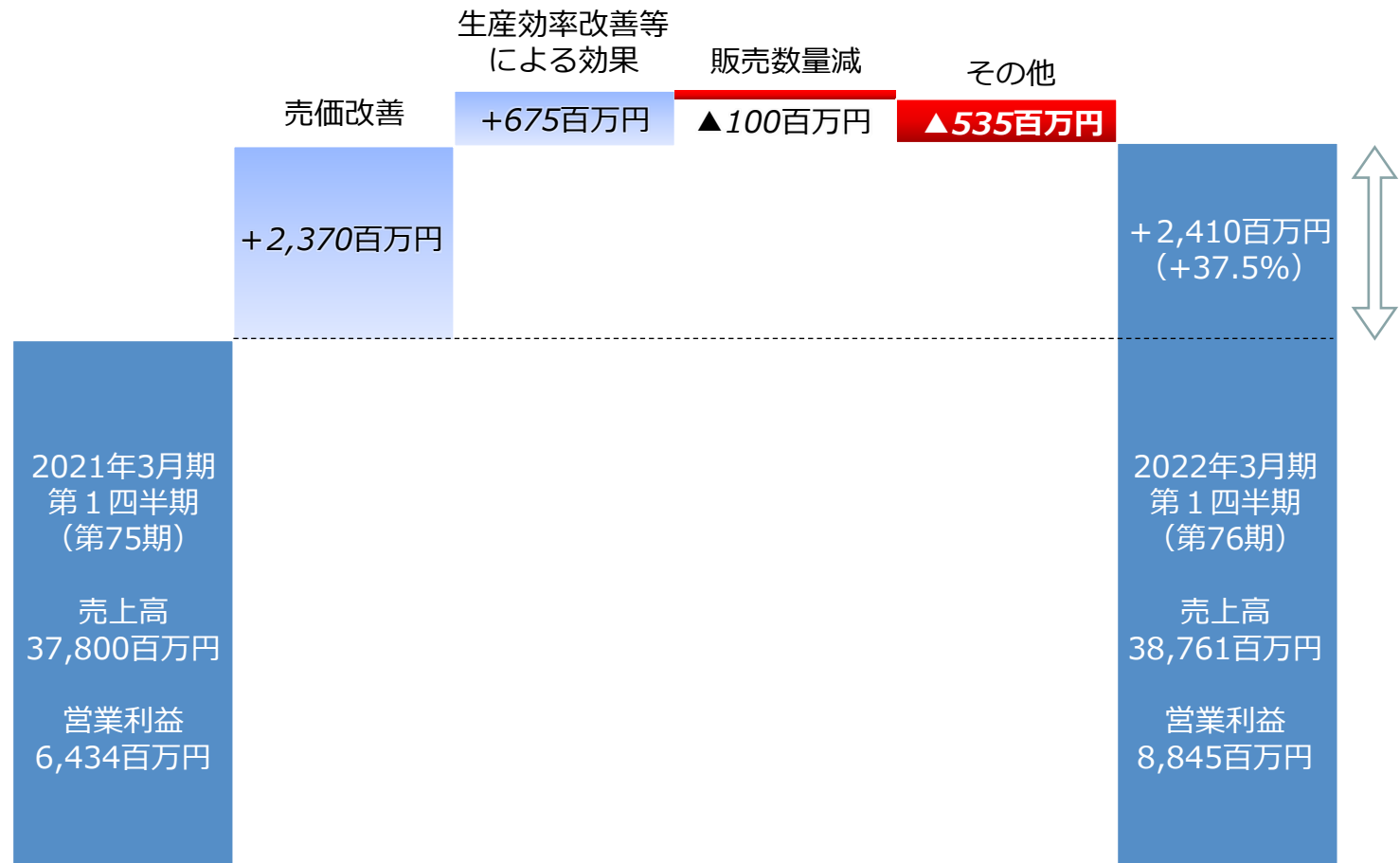


売上高

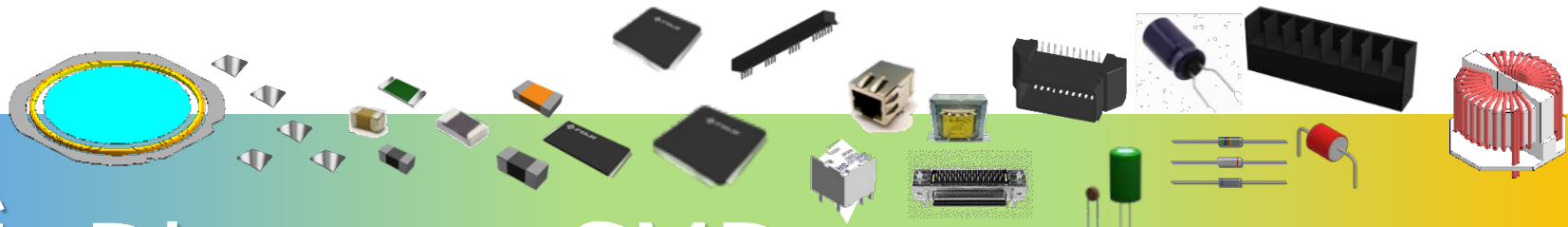


営業利益増減分析

◎販売数量は減少したものの、売価改善等により対前年同期比2,410百万円の営業利益増



ロボットソリューション事業



はんだ
印刷

Die

SMD

挿入部品



FASFORD
TECHNOLOGY

DBシリーズ

NXTR

NXT
Fuji Scalable Placement Platform

AIMEX

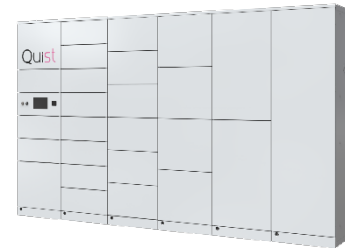
sFAB-SH

多関節ロボット

プラズマ処理装置

宅配ロッカーシステム

介護ロボット



SmartWing
FUJI
innovative spirit

Tough Plasma

QuiSt

Huq

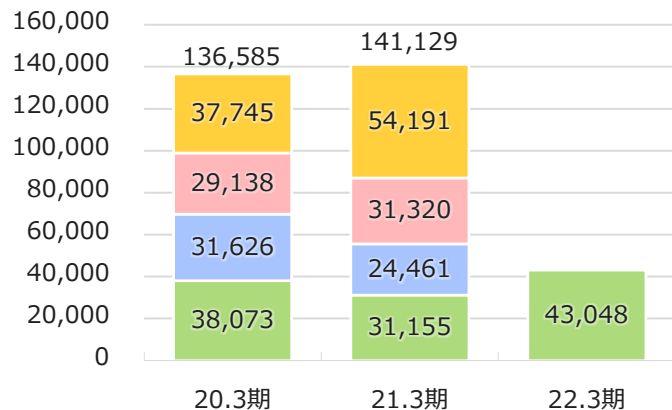
ロボットソリューション事業 業績

- ◎チップマウンター市場は中国を中心に設備投資需要が堅調
- ◎スマホなどの底堅い需要に加え、回復基調にある車載・半導体関連が業績をけん引

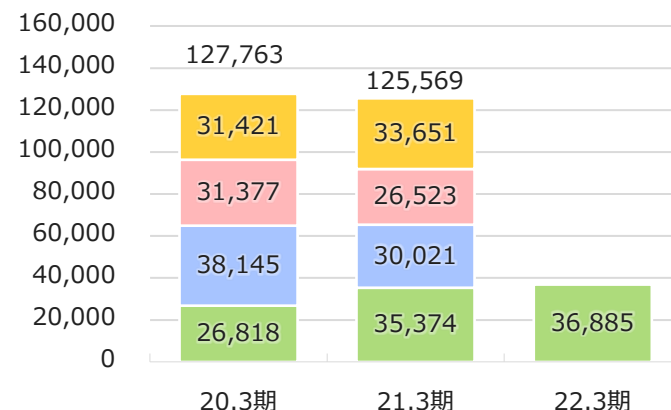
(百万円)

	21.3期 Q1 実績	22.3期 Q1 実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	31,155	43,048	+11,892	+38.2%
売上高	35,374	36,885	+1,511	+4.3%
営業利益	7,519	9,654	+2,134	+28.4%
受注残高	22,286	48,227	+25,940	+116.4%

受注高



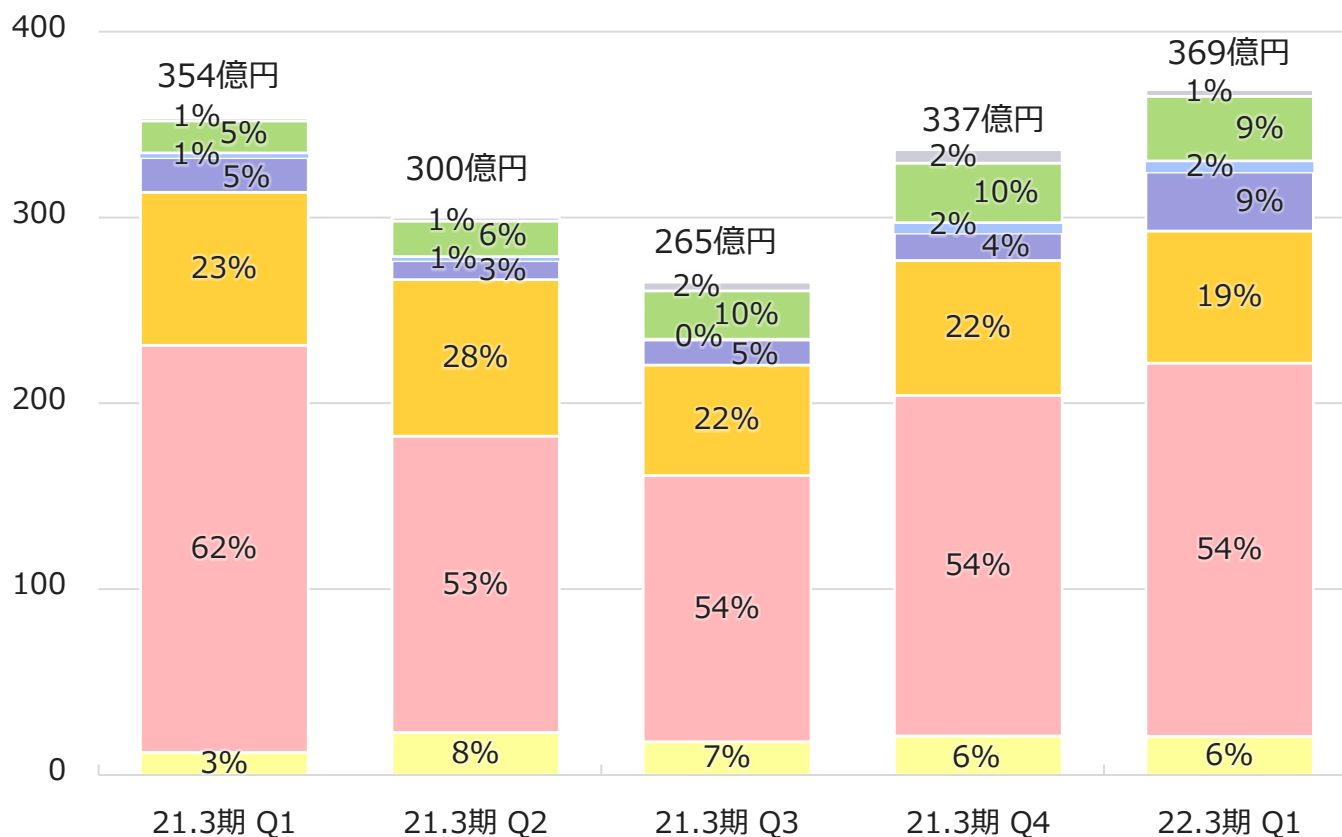
売上高



ロボットソリューション事業 地域別売上高

- ◎米国：車載および産業機械向けを中心に大きく伸長
- ◎中国：中国スマホメーカー向け案件が堅調

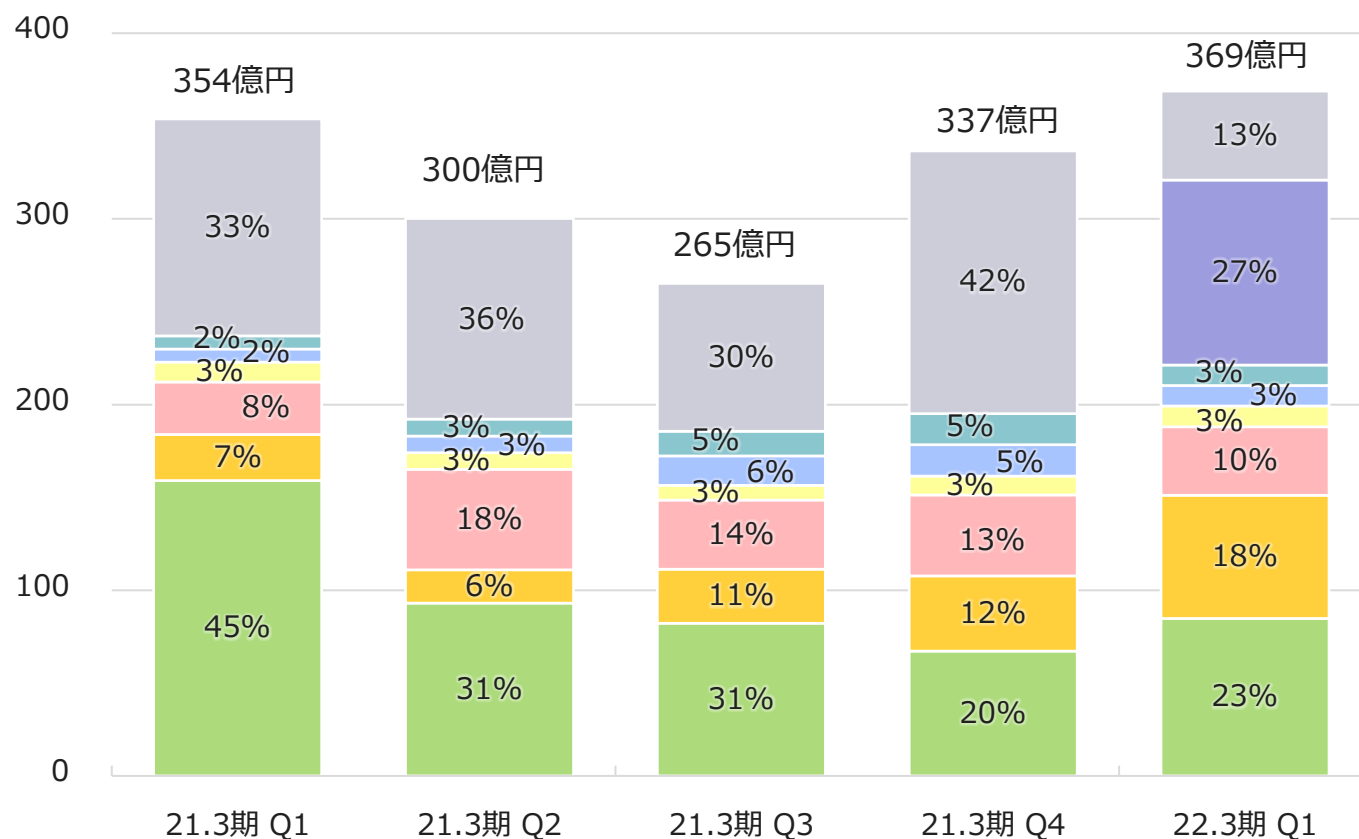
■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ 米国 ■ 他北米 ■ ヨーロッパ ■ その他



ロボットソリューション事業 業種別売上高

- ◎車載：米系の大手EMSおよび欧州車載メーカーを中心に設備需要の回復が顕著
- ◎半導体関連：今回より「その他」から切り出して別区分として開示

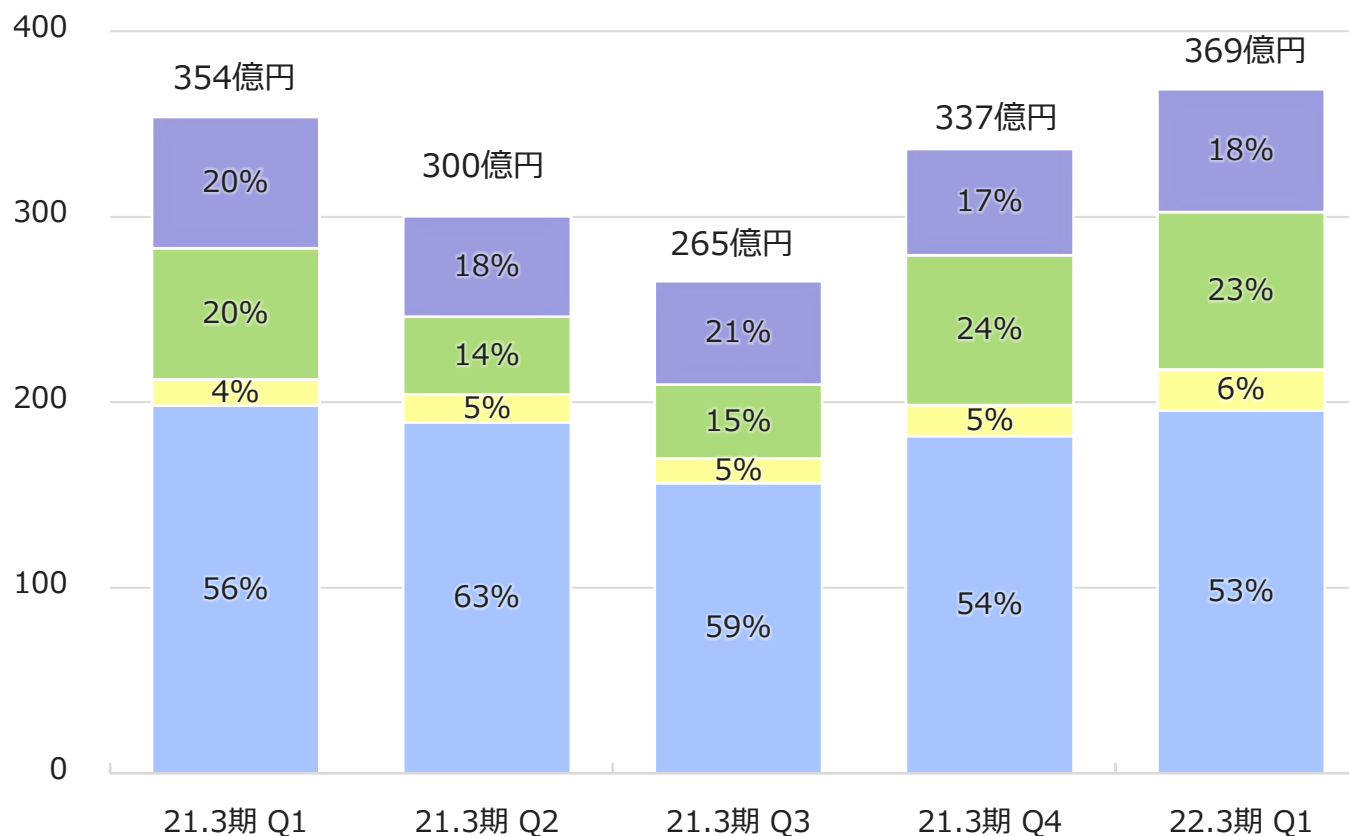
■ 通信 ■ 車載 ■ コンピュータ ■ サーバー ■ 家電 ■ 産業機械 ■ 半導体関連 ■ その他



ロボットソリューション事業 機種別売上高

◎その他装置：半導体製造装置が好調

■ 高速装着機 (NXTシリーズ)
 ■ 汎用装着機 (AIMEXシリーズ)
 ■ その他装置
 ■ 部品・改造・修理



マシンツール事業

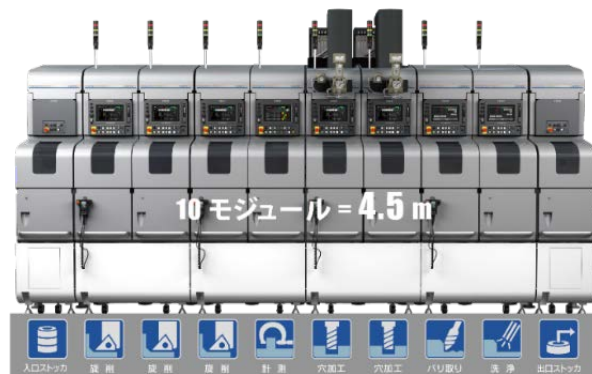
複合加工機

GYROFLEX



モジュール型生産設備

DLFn



正面2スピンドル旋盤

CS SERIES



横型NC旋盤

TN SERIES



対向2スピンドル旋盤

AN SERIES



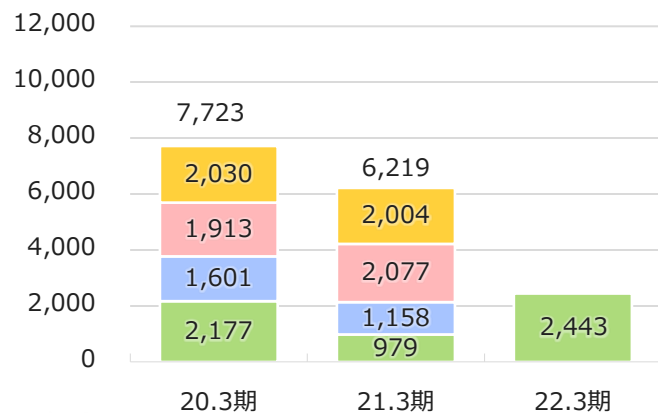
マシンツール事業 業績

◎ 海外市場での経済活動の立ち直りに伴い、当社の受注も回復基調に

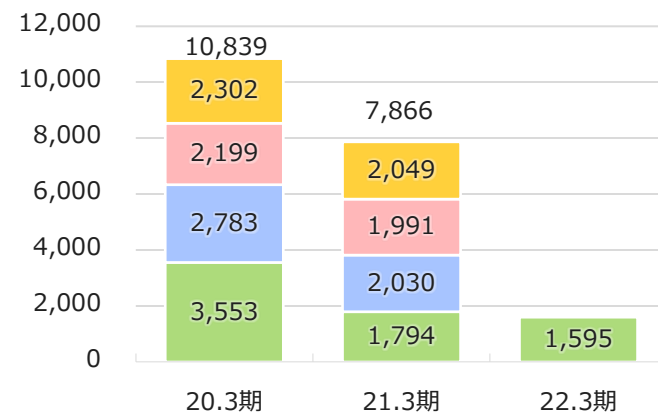
(百万円)

	21.3期 Q1 実績	22.3期 Q1 実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	979	2,443	+ 1,463	+ 149.5%
売上高	1,794	1,595	▲ 199	▲ 11.1%
営業利益	▲ 337	0	+ 338	-
受注残高	4,517	4,534	+ 16	+ 0.4%

受注高



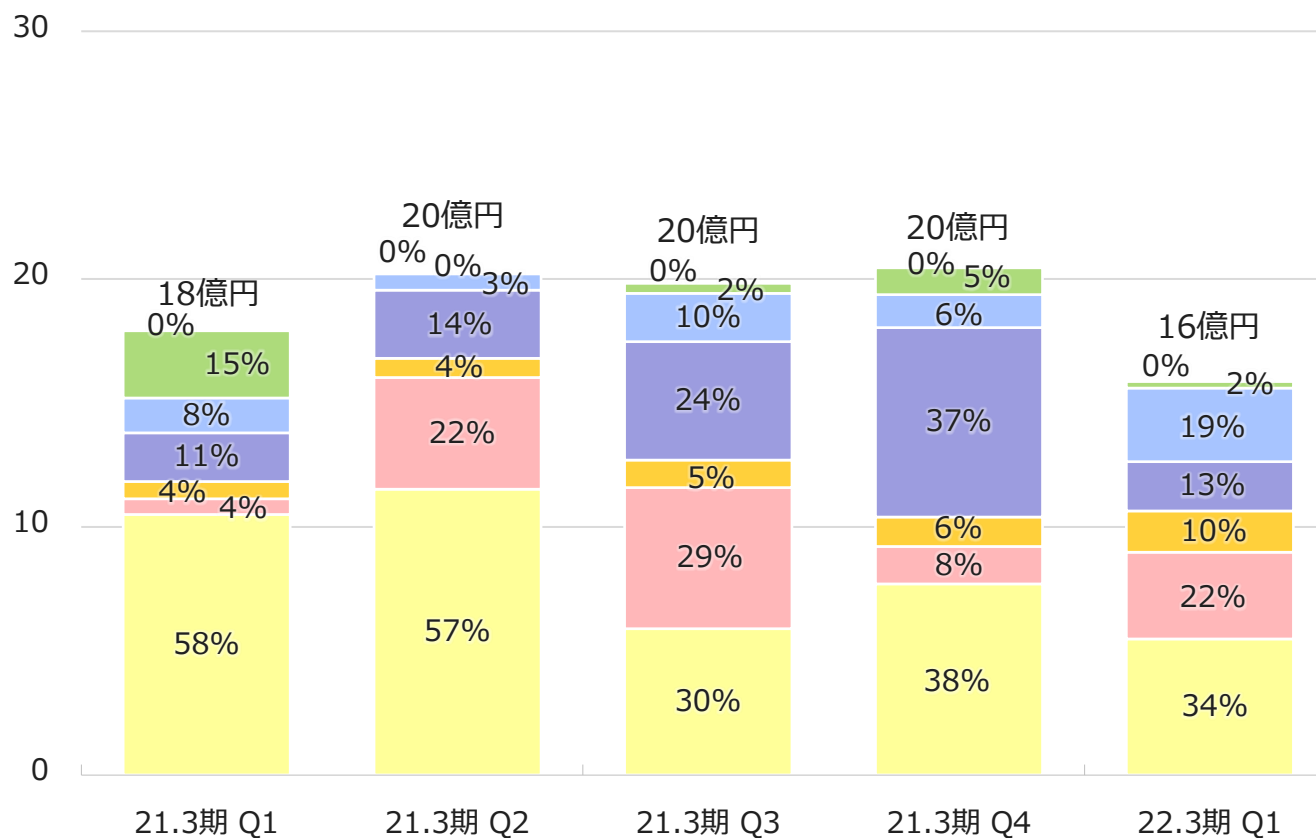
売上高



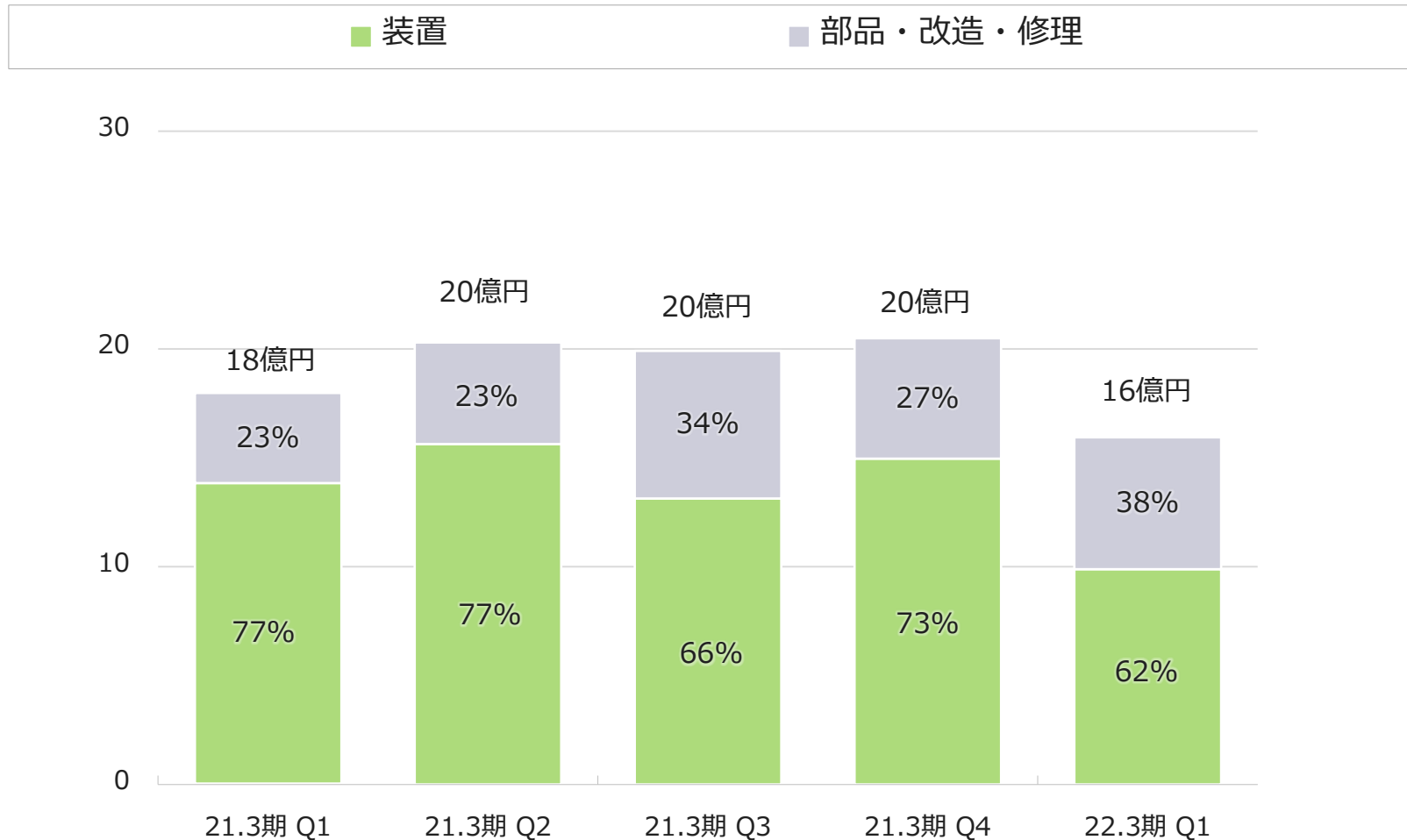
マシンツール事業 地域別売上高

- ◎日本：国内向けの設備需要は依然低調
- ◎他北米：カナダ向けの投資案件が貢献し、大きな伸び

■ 日本
 ■ 中国
 ■ 他アジア
 ■ 米国
 ■ 他北米
 ■ ヨーロッパ
 ■ その他



マシンツール事業 機種別売上高



- ◆ 1. 第1四半期決算の概要
- ◆ 2. 2022年3月期 業績予想
- ◆ 3. トピックス

業績予想

- ◎ ロボットソリューション事業：複数の業種において設備投資が活況
- ◎ マシンツール事業：市場は回復基調にあり、年度見通しを据え置き
- ◎ 懸念されていた一部の半導体部材の調達にも、一定の目途が立ちつつあることから、上方修正

(百万円)

	21.3期 通期実績	22.3期通期予想				
		2021年5月11日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
				増減額	増減率	増減額
受注高	150,021	121,000	153,000	+2,978	+2.0%	+32,000
売上高	136,161	125,000	151,000	+14,838	+10.9%	+26,000
営業利益	21,904	16,500	29,000	+7,095	+32.4%	+12,500
営業利益率	16.1%	13.2%	19.2%	—	—	—
経常利益	23,224	16,700	29,000	+5,775	+24.9%	+12,300
当期純利益	17,167	12,000	20,000	+2,832	+16.5%	+8,000

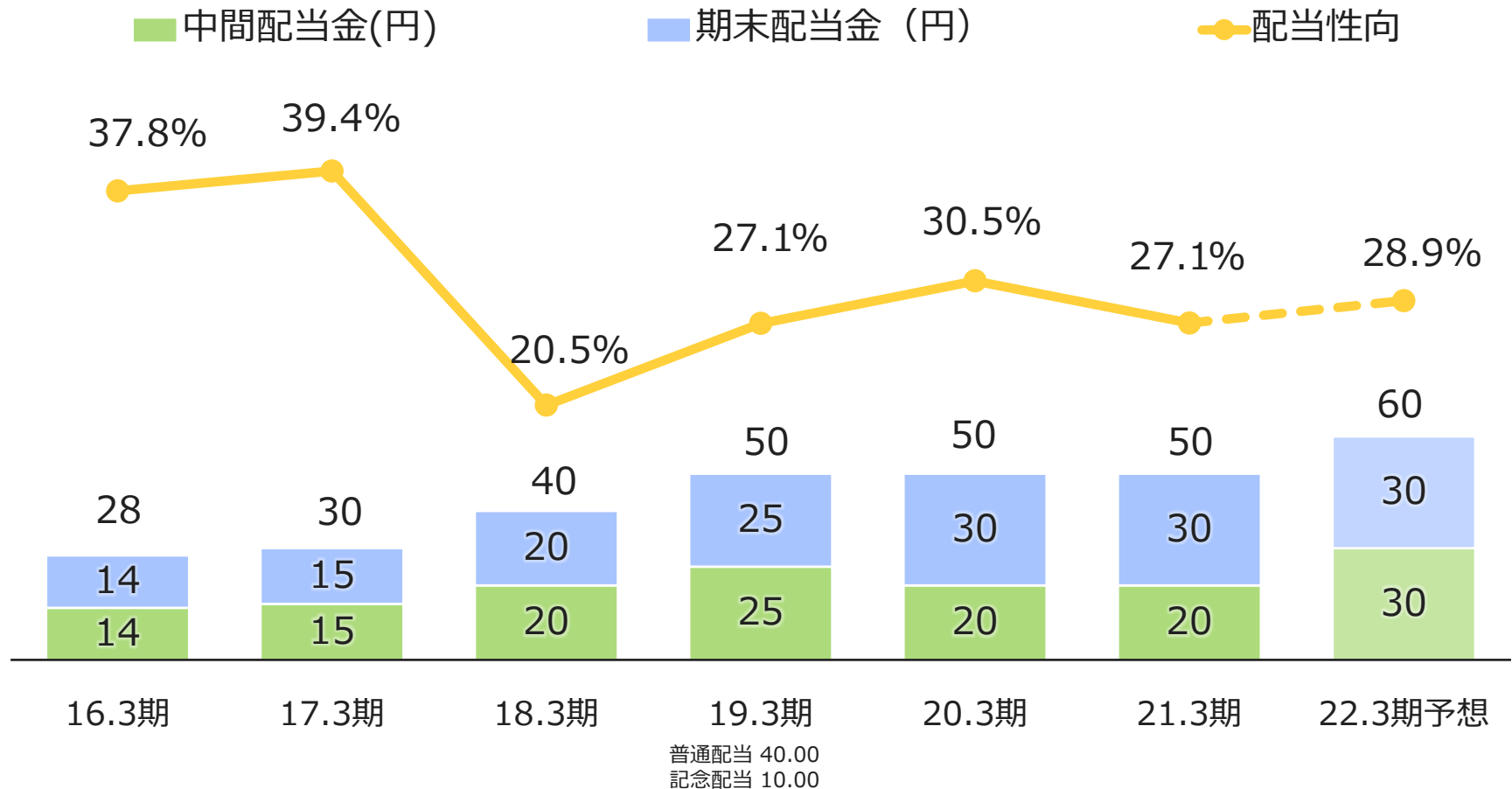
セグメント受注・売上予想

(百万円)

		21.3期 通期実績	22.3期通期予想				
			2021年5月12日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
					増減額	増減率	増減額
ロボット ソリューション 事業	受注高	141,129	105,000	137,000	▲4,129	▲2.9%	+32,000
	売上高	125,569	110,000	136,000	+10,430	+8.3%	+26,000
	受注残	42,064	37,064	43,064	+1,000	+2.4%	+6,000
マシンツール 事業	受注高	6,219	13,000	13,000	+6,780	+109.0%	±0
	売上高	7,866	12,000	12,000	+4,133	+52.5%	±0
	受注残	3,686	4,686	4,686	+1,000	+27.1%	±0
その他 事業	受注高	2,672	3,000	3,000	+327	+12.2%	±0
	売上高	2,725	3,000	3,000	+274	+10.1%	±0
	受注残	260	260	260	±0	-	±0
合計	受注高	150,021	121,000	153,000	+2,978	+2.0%	+32,000
	売上高	136,161	125,000	151,000	+14,838	+10.9%	+26,000
	受注残	46,010	42,010	48,010	+2,000	+4.3%	+6,000

1株当たり年間配当金・配当性向

◎業績予想の修正に伴い、年間配当予想を40円から60円に修正



- ◆ 1. 第1四半期決算の概要
- ◆ 2. 2022年3月期 業績予想
- ◆ 3. トピックス

サステナビリティページ新設

情報開示の拡充を進めるべく当社ホームページにサステナビリティページを新設しました。

企業価値向上と持続的成長の実現に向け一層努めます。

ガバナンス(G)

社会(S)

環境(E)

サステナビリティ理念

トップメッセージ

常に新しい価値の創造に挑戦し続け、豊かな社会づくりに貢献します。

当グループは「ものづくり企業」として「需要家の信頼に応え、たゆまぬ研究開発に努め、最高の技術を提供する」を社訓とし、企業理念をつくりあげてまいりました。

1959年に工作機械メーカーとして創業以来、電子部品挿入ロボット・実装ロボットを世に送り出し、業容を拡大してまいりました。さらに近年では、これまで培ってきたロボット技術をベースに、半導体製造装置、多関節ロボット、そして医療・介護・物流など新たなフィールドにも積極的に取り組み、お客様や社会の課題を解決してまいりました。それらを広く共有することにより社会全体で発展・成長していくことが、あらゆるステークホルダーの皆様や社会に対する責任であると考えております。

こうした状況を踏まえ、DXの活用やSDGsを意識した事業展開を押し進めることで、国際社会共通の課題の解決はもちろん、想像を超える未来に貢献するとともに、経営基盤強化としてCSRやESGなどにも真摯に取り組み、企業価値の向上と持続的成長の実現に向け一層努めてまいります。

代表取締役社長 須原 信介

常に賛同します。
いきます。

かかわり

行っています。2021年6
は取締役会に出席し、毎

行責任を持たせ、定例
経営目標を明確にする

詳細は当社ホームページへ
<https://www.fuji.co.jp/sustainability/>



バーチャルショールーム新設

当社ホームページにバーチャルショールームを開設しました。

いつでも、どこでも、FUJIのショールームをお気軽にご体感いただけます。

バーチャルショールーム



詳細は当社ホームページへ
<https://www.fuji.co.jp/showroom>



宅配ロッカーシステム Quiist

大手小売店様への展開が加速

人手不足による「自動化・省人化」ニーズ、
コロナ禍による「非対面・非接触」ニーズを受け、
ホームセンター、スーパーマーケット、ドラッグ
ストアなどへの展開が加速しています。



<コープこうべ コープ西宮南様>

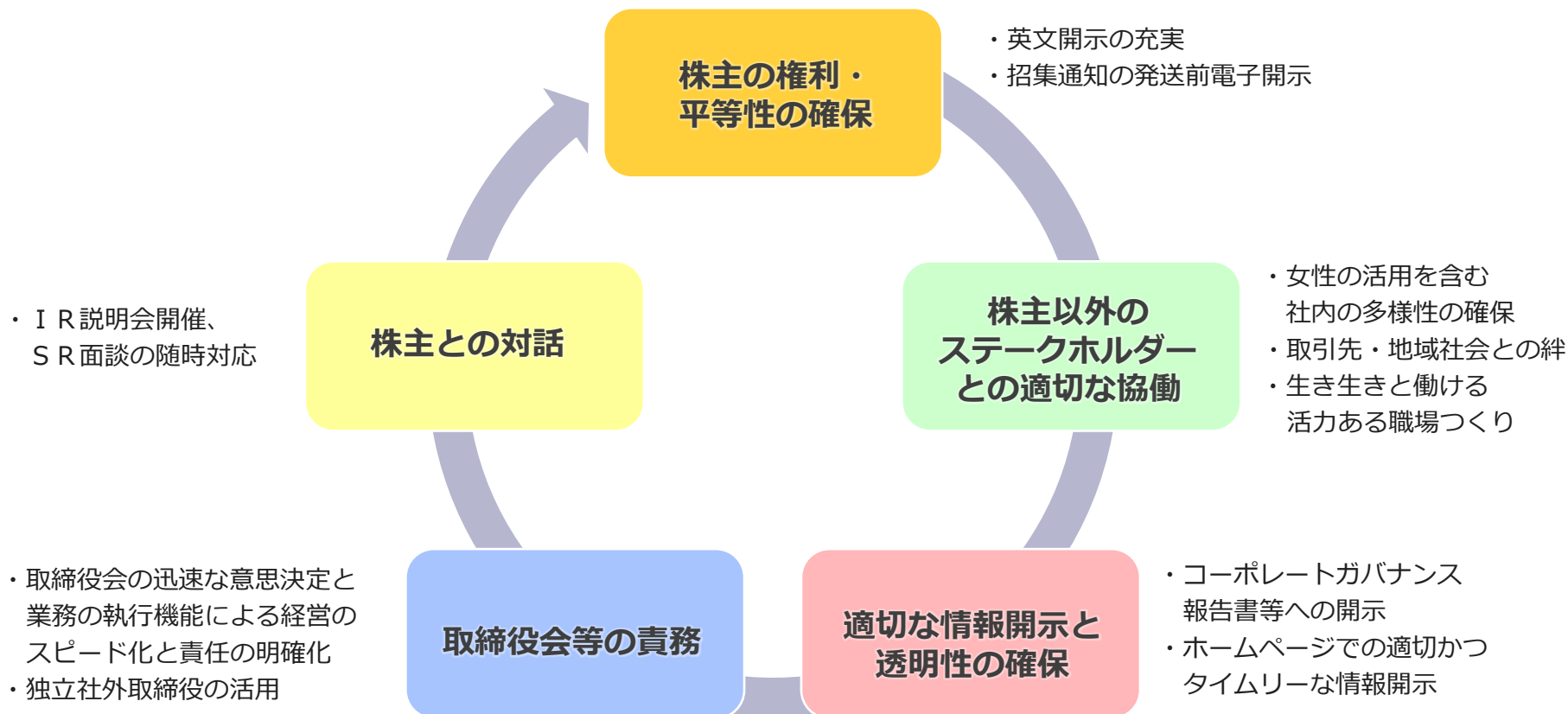
顔認証機能を搭載

新たに顔認証機能（オプション）を開発し、
より便利に、そして高セキュリティな商品・
荷物の受け渡しが可能となりました。



コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、
企業価値の向上を目指してまいります。



お客様に感動を!



【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合があります。